

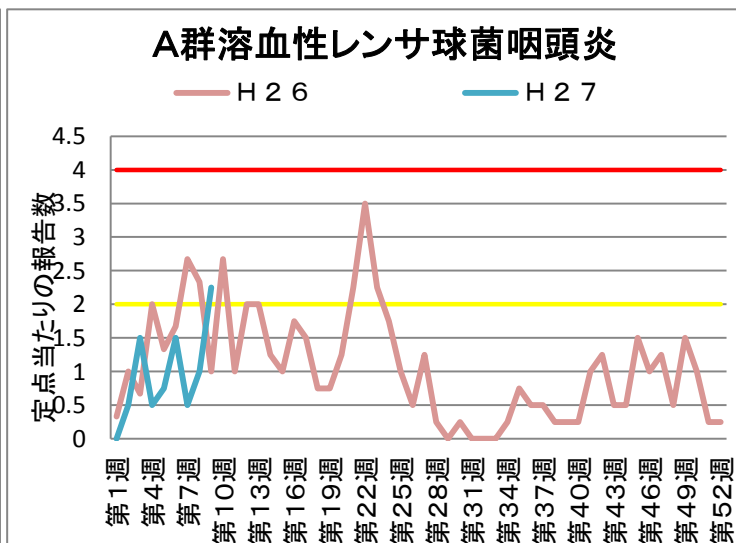
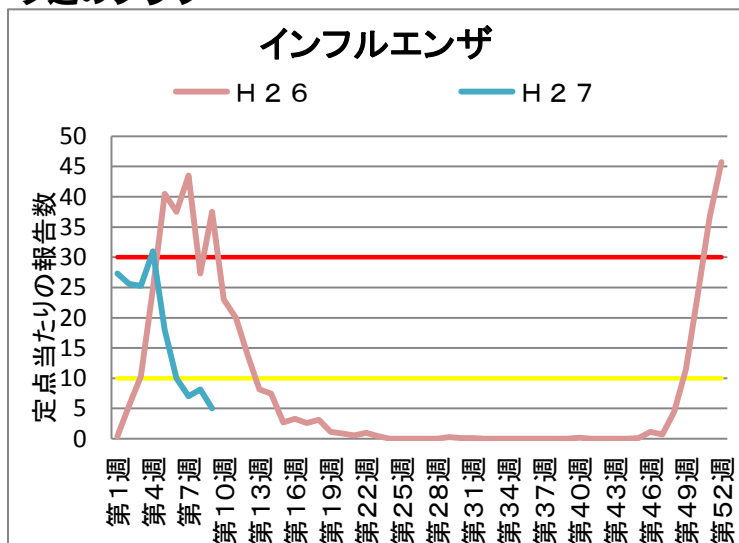
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 9 週 平成27年2月23日 ~ 平成27年3月1日

## 今週のコメント

① インフルエンザの報告は、定点あたりの報告数5.0件まで減少しました。今シーズンは例年に比べインフルエンザ流行のピークが早く、全国的には年明けがピークとなりました。乙訓地域は作シーズンより8週も早く、年末の第52週がピークでした。② 感染性胃腸炎の報告は、定点あたりの報告数8.75件と横ばいです。③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数が増加しています(2.25件)。全国的にも、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっています。主に飛沫感染し、1~3日の潜伏期間の後、咽頭痛・発熱にて発症し、その後、発疹がみられます。指示された期間の抗生物質の内服が必要です。

## 今週のグラフ



\* ——— 流行警報基準値です      ——— 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点あたりの報告数	疾病名	定点あたりの報告数
インフルエンザ	5	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	8.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.75	流行性耳下腺炎	-

定点あたりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

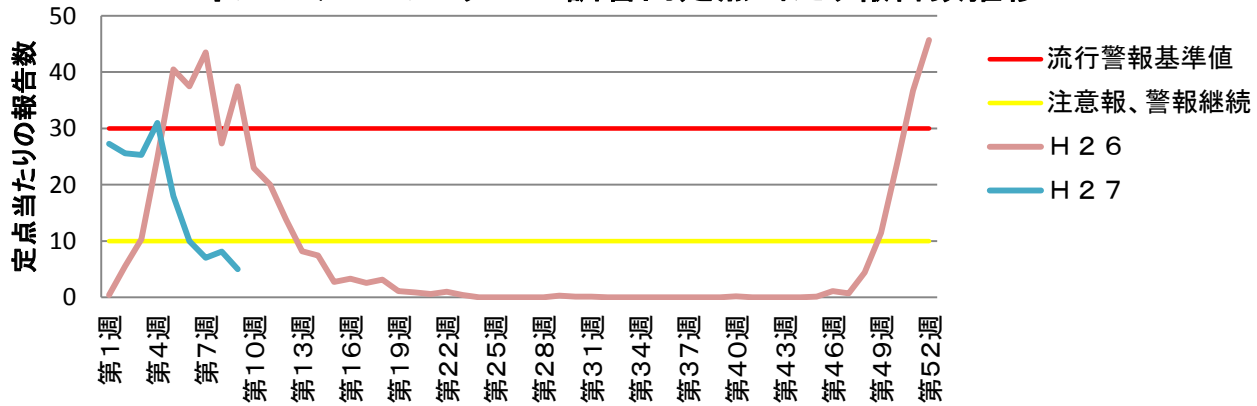
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

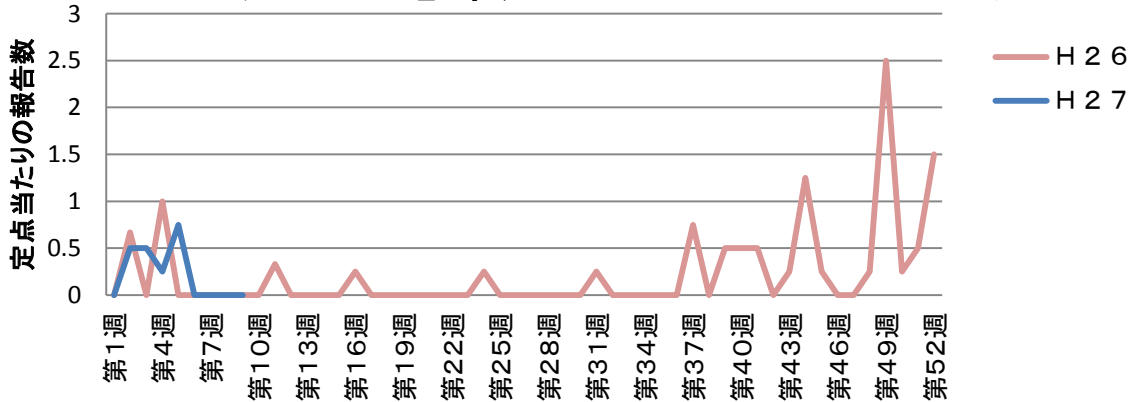
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

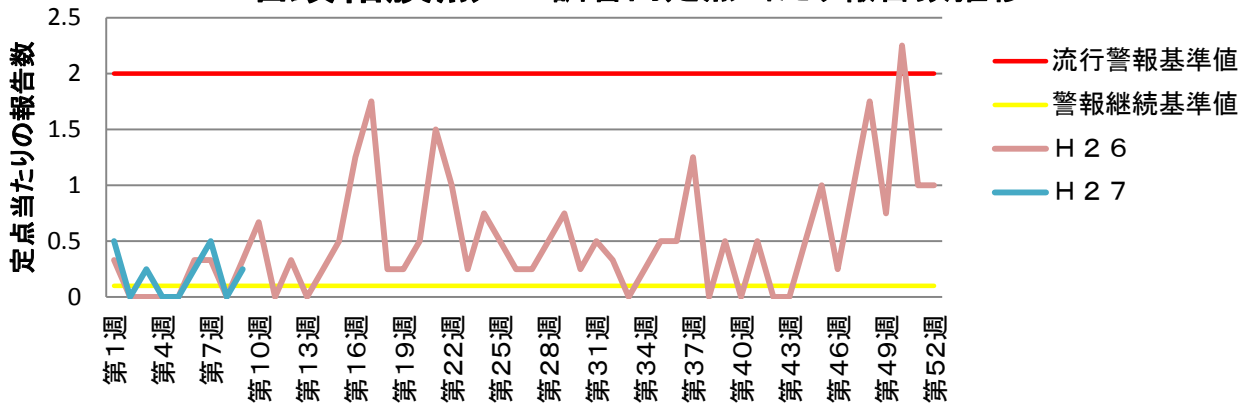
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



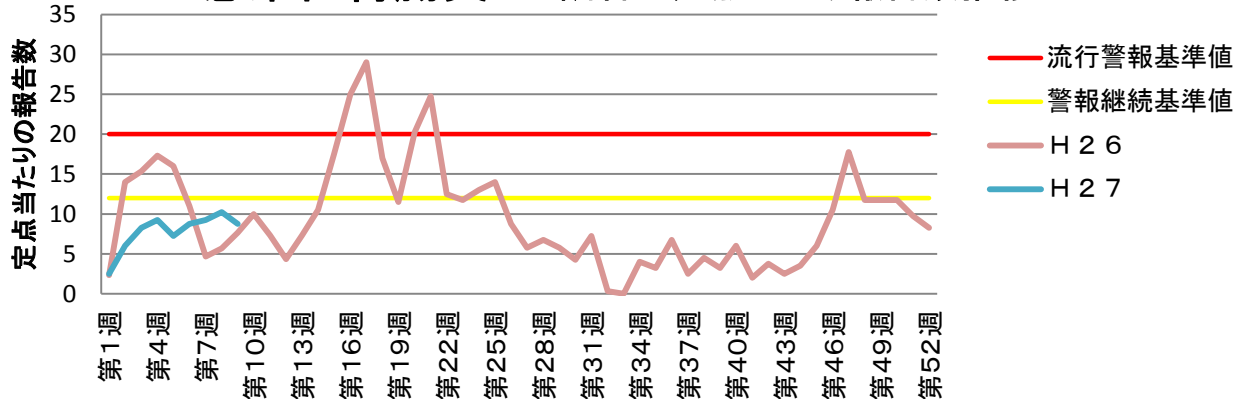
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



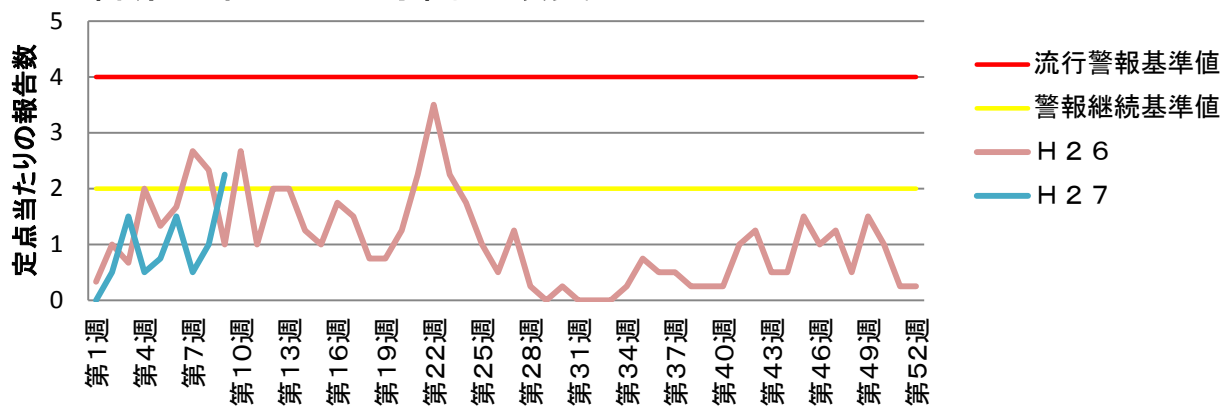
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



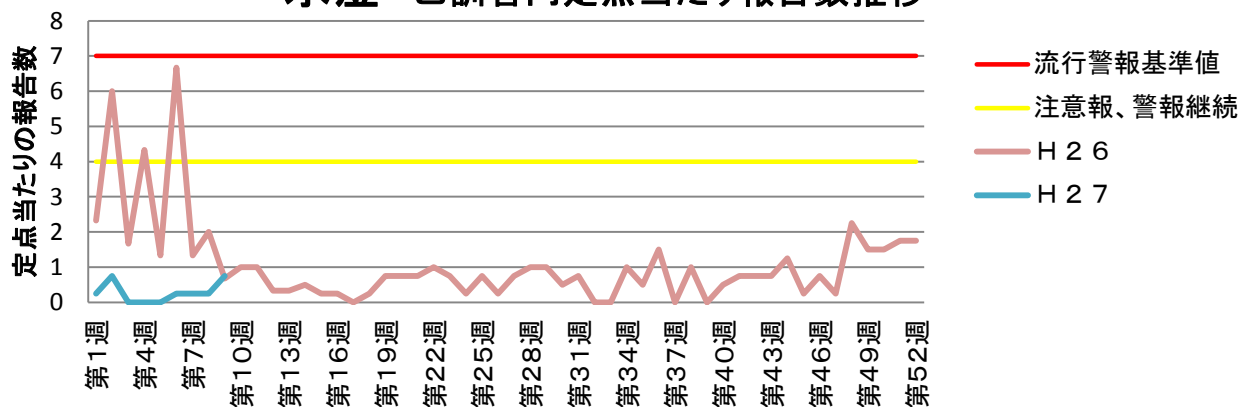
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



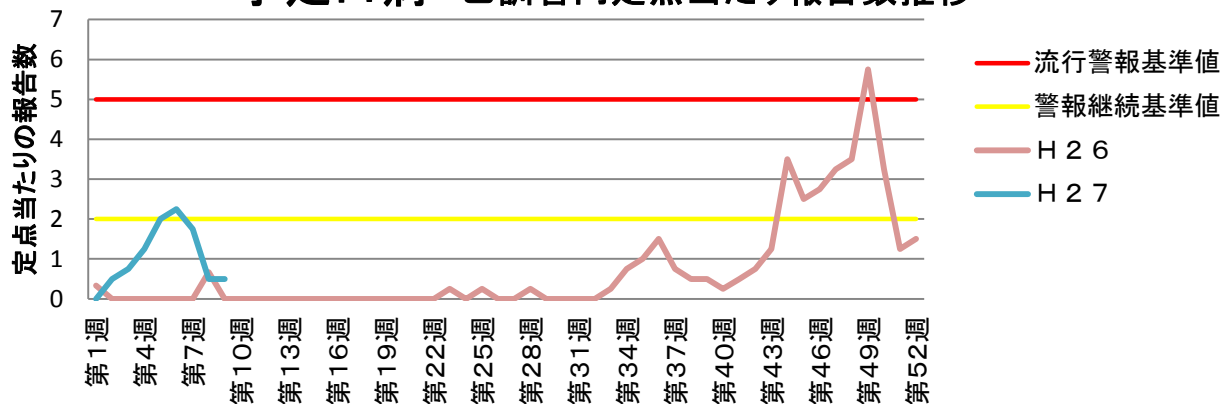
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



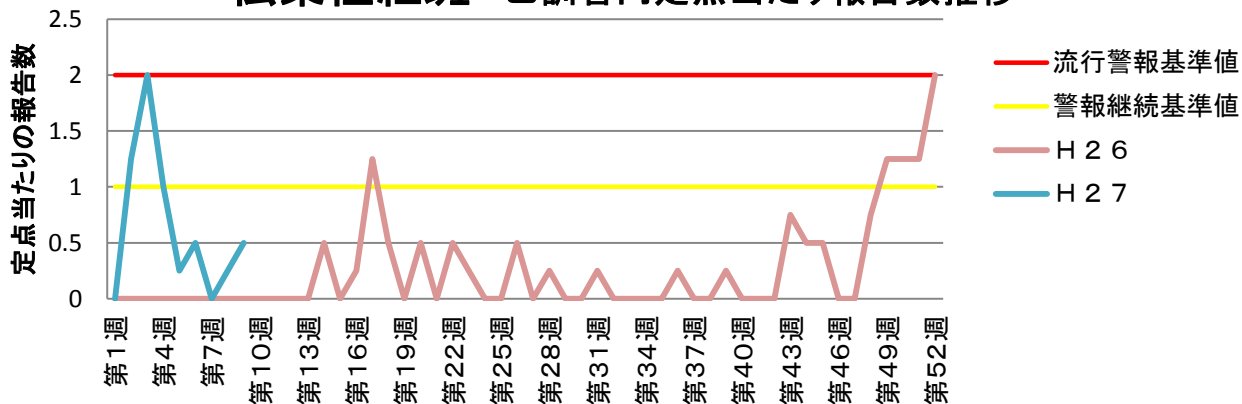
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



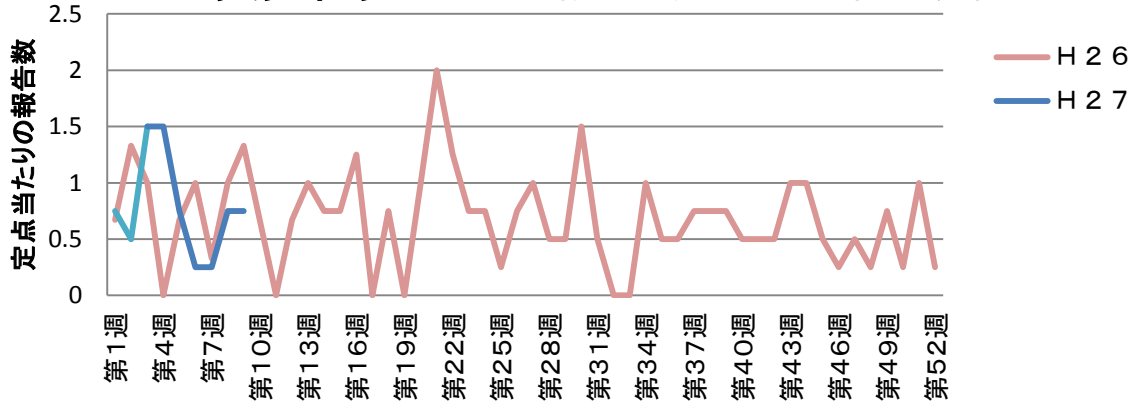
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



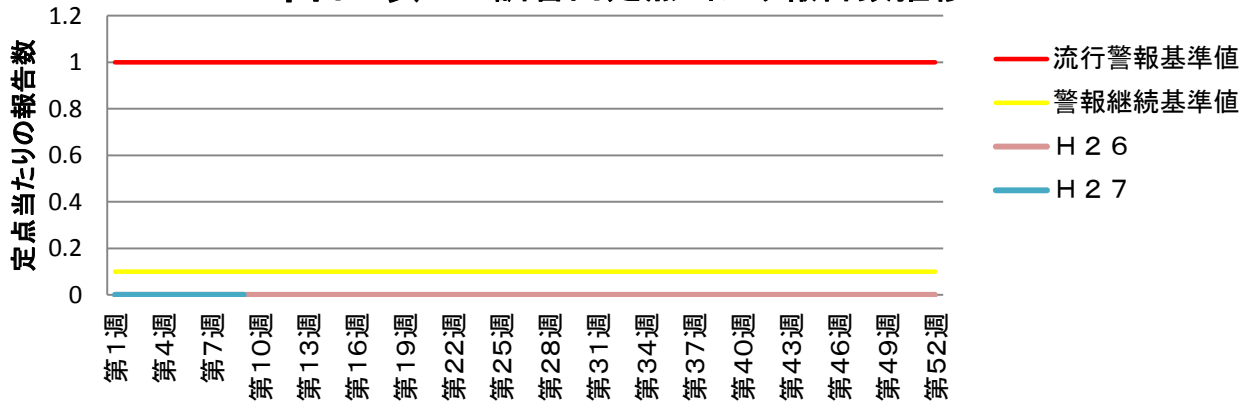
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



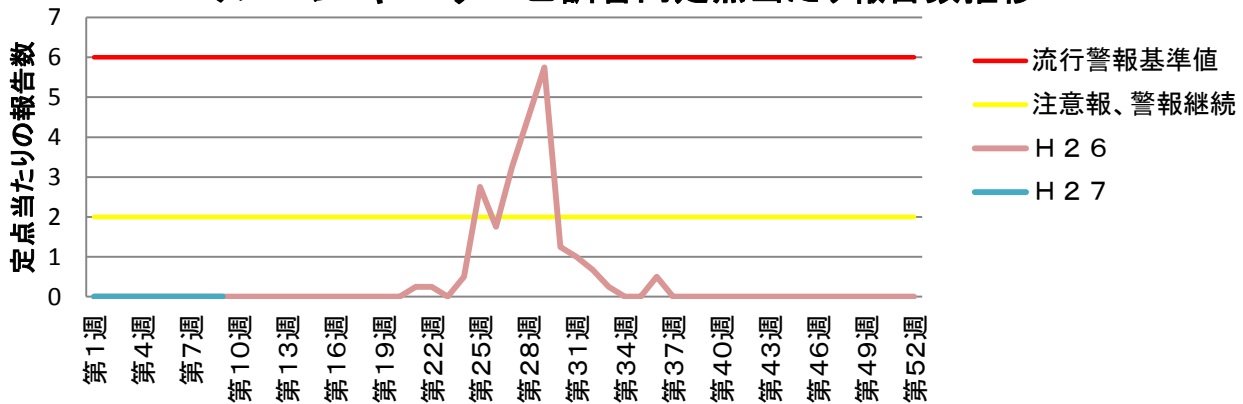
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

